



美祢市議会議長 秋山 哲朗

美祢市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成 25 年の年頭にあたり、美祢市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を、ご家族おそろいで、お健やかに迎えの心から心からお慶び申し上げます。

私たち市議会議員は、昨年 4 月に執行されました美祢市議会議員一般選挙におきまして、市民の皆様から付託を受けた 19 人を市議会に送り出させていただきました。改めてその責任の重さを感じているところであり、身の引き締まる思いであります。

さて、私たち地方を取り巻く地域経済は、長期にわたり低迷し大変厳しい状況にあります。とりわけ市内の塩化ビニール管製造事業所の撤退や、隣接する他市の大手半導体事業所が閉鎖計画等を打ち出したことは、美祢市の雇用確保に関わることであり、人口や税収減に悪影響を及ぼすことと危惧しているところでもあります。

また、国においては東日本大震災からの復旧・復興や社会保障と

税の一体改革が議論される中、来年 4 月から消費税率が変更される予定であり、今後、地方自治体への影響を注視する必要があります。

このような状況の中、美祢市が抱えております過疎・少子高齢化や福祉・医療の充実、基幹産業の農業振興や増加する有害鳥獣被害、さらには商工業の振興など、直面する行政課題を解決しながら、市民の皆様が安全・安心に暮らせるよう第一次美祢市総合計画に基づき、執行部と議会の両輪で諸政策を着実に実施する必要があります。

さらに、地方分権一括法の施行により本格的に地方分権に向けたスタートが切られ、自己決定と自己責任の原則が拡大しております。議会は、市長と同じく市民の皆様選挙で選ばれた二元代表制の一翼を担う存在であることから、その役割と責任はますます大きくなってまいります。市民の皆様のニーズを議会報告会などを通じて把握し、議員による政策討論会等から執行部に提案することにより、適切な形で市政運営に反映し市民の皆様への負託に応えられるよう、決意を新たにいたしております。本

年も議会活動に対しまして温かいご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年を迎え、市民の皆様のご健勝とご多幸を、議員一同心よりご祈念申し上げます、年頭に当たってのごあいさつとさせていただきます。